日本基礎老化学会

第19回大会プログラム

The 19th Annual Meeting of the Japanese Society for Biomedical Gerontology

☆☆☆

OCTOBER 18 (WED) - 20 (FRI), 1995

Senri Life Science Center, Osaka

会　期　1995年10月18日(水)～10月20日(金)

会　場　千里ライフサイエンスセンター
サイエンスホール（５Ｆ）

会　　長　　鈴木堅之（東海大学名誉教授）

大 会 長　　藤原美定（神戸大学医学部医学科放射線基礎医学）

副大会長　　市橋正光（神戸大学医学部医学科皮膚科学）
横山光宏（神戸大学医学部医学科第１内科学）

プログラム委員　　松尾光芳（甲南大学理学部生物学）　細川昌則（京都大学胸部疾患研究所）
高木由臣（奈良女子大学理学部生物学）　細野正道（京都大学胸部疾患研究所）
藤原美定（神戸大学医学部放射線基礎医学）

会　　期　　日本基礎老化学会第１９回大会

学術集会：一般演題、招待講演、シンポジウム、ミニシンポジウム
平成7年10月18日（水）～10月20日 (金)

理事会
平成7年10月17日（火）15:40-17:00　都ホテル大阪　3F「金剛」

評議委員会
平成7年10月18日（水）12:00-12:45　千里ライフサイエンスセンター・学会

総会
平成7年10月18日（水）13:00-13:30　同上・学会場

懇親会
平成7年10月18日（水）18:00-20:00　同上・6F懇親会場

第19回日本老年学会総会
平成7年10月19日（木）13:00-16:40　大阪国際交流センター

(関連集会)
日本老年学会理事会
平成7年10月17日（火）17:00-18:00　都ホテル大阪　4F「大和（東）」

会　　場　　千里ライフサイエンスセンター・サイエンスホール (5F)
〒565 大阪府豊中市新千里東町１－４－２
TEL 06(873)2010　FAX 06(873)2011

大会事務局　　神戸大学医学部医学科・放射線基礎医学教室
〒650 神戸市中央区楠町7-5-1
(TEL 078(341)7451, Ext 3360-3362　FAX 078(362)0294
松本　明

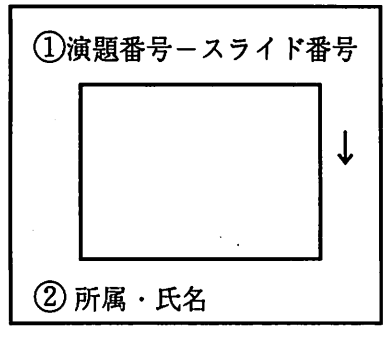
学会事務局　　東京都老人総合研究所内　日本基礎老化学会事務局
〒173 東京都板橋区栄町35-2
(TEL 03(3964)3241 FAX 03(3579)4776)

参加者・発表者の皆様へ

◆参 加 費◆ 参加を申し込んでいない参加者は参加申込をし、振込用紙によって10月2日（月）までに前納して下さい（サーキュラー46号参照）。

◆受　　付◆ 10月18日（水）8:50より受付を開始します。受付にて参加章を受取り、所属・氏名をご記入下さい。この参加章で第19回老年学会総会に出席できます。

◆スライド◆ ❶発表の30分前までにスライド受付係へ提出し、スライドは各自プロジェクターカセットに入れ、順序、向きを確認して下さい。スライドは35 mmのみで、一般演題は10枚以内とします。１面投影のみです。講演終了後速やかにお引取り下さい。同一スライドを複数回投影する場合必要枚数用意下さい。



❷スライドフレームに記入する事項
① 演題番号－スライド番号
(例　５０－１)
② 所属・氏名

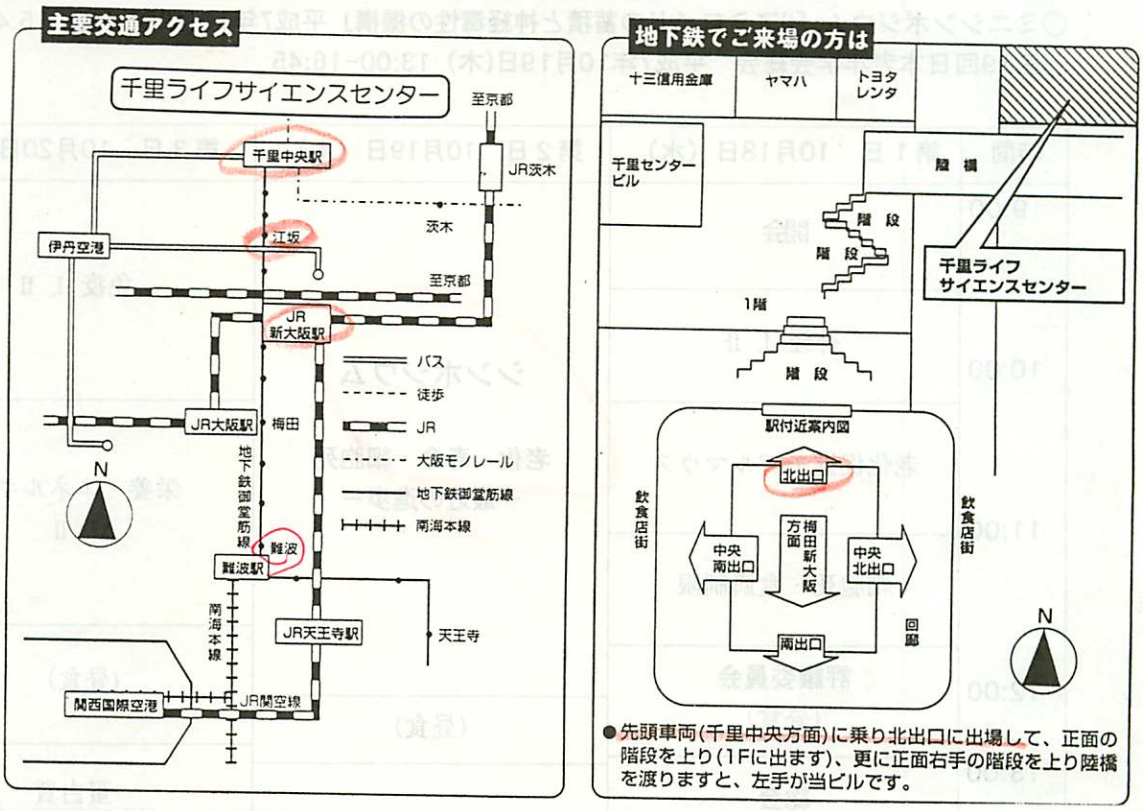
◆講演時間◆ 一般演題は**講演８分（7分で予告、8分口演終了）、討論２分の計10分**です。**時間厳守** 下さい。

◆懇 親 会◆ まだ申込んでいない希望者は１０月２日（月）までに大至急申し込んで懇親会費をお支払い下さい。学会当日の受付はできません（サーキュラー46号に既報）。

◆会場案内◆ ３ページ目を参照のこと。

<会場案内>

◎基礎老化学会大会場：　千里ライフサイエンスセンター



●北大阪急行（御堂筋線）　JR新大阪駅、JR大阪駅より千里中央駅下車（13分）、徒歩２分

●新関西空港　空港よりJR関西空港線でJR新大阪で北大阪急行乗換え、千里中央駅で下車（～60分）

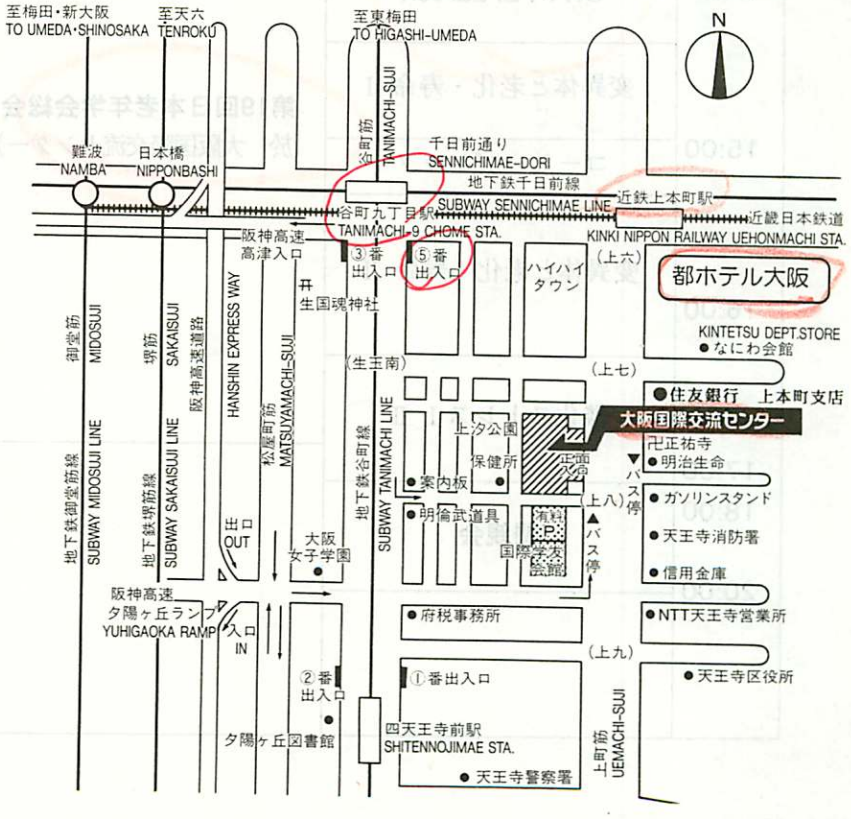
●大阪（伊丹）空港　空港から「千里中央」行きバス（～30分）

◎第19回日本老年学会会場
大阪国際交流センター
（天王寺区上本町8-2-6
TEL 06-772-5931）

●地下鉄　谷町線「谷町９丁目」駅３、５番出口または「四天王寺」駅１、２番出口から徒歩10分。

●市バス　「上本町八丁目」から徒歩１分

●近　鉄　「上本町」駅から徒歩５分



⑨ 演説をまとめて「タイトル」をつけた。

日本基礎老化学会第19回学術大会日程表

○特別講演　Dr. Pamela L. Larsen　平成7年10月18日(水) 13:30-14:30
○シンポジウム「老化・寿命・細胞死－最近の進歩－」　平成7年10月19日(木) 9:05-12:30
○ミニシンポジウム「βアミロイドの蓄積と神経毒性の機構」平成7年10月20日(金) 15:40-17:00
○第19回日本老年学会総会　平成7年10月19日(木) 13:00-16:45

時間	第1日　10月18日（水）	第2日　10月19日（木）	第3日　10月20日(金)
9:00	開会	シンポジウム 老化・寿命・細胞死 －最近の進歩－	免疫 I, II
10:00	神経 I, II		
	老化促進モデルマウス		栄養・エネルギー I, II
11:00	細胞死・食餌制限		
12:00	評議委員会 (昼食)	(昼食)	(昼食)
13:00	総会	第19回日本老年学会総会 (於　大阪国際交流センター)	蛋白質
14:00	特別講演 Dr. P. L. Larsen		加齢変化
	変異体と老化・寿命 I		予防・治療
15:00	コーヒーブレーク		コーヒーブレーク
	変異体と老化・寿命 II		アミロイド・カルボリン
16:00	酸化ストレス I, II		ミニシンポジウム 「βアミロイドの蓄積 と神経毒性の機構」
17:00			
18:00	懇親会		閉会
20:00			

第1日　10月18日（水）

9:15～9:20　開会挨拶　大会長　藤原美定

一般演題

9:20～9:50　神経 I　座長　佐藤昭夫（都老人研）

1. コリン作動性シナプスの老化
○安藤進、田中康一（都老人研・生体膜）

2. シナプトソームからのCCK放出の加齢変化
○太田稔[1]、田中康一[2]、増田正雄[2]、宮坂京子[1]、船越顕博[3]（都老人研：[1]臨床生理・[2]生体膜、[3]国立病院九州がんセ）

3. 膵小腸潅流標本を用いたニューロメジン-C刺激によるCCKおよびPP分泌の加齢変化
○金井節子、宮坂京子、船越顕博（都老人研・臨床生理）

9:50～10:20　神経 II　座長　安藤進（都老人研）

4. マイネルト核電気刺激による大脳皮質血流増加反応の加齢変化
○堀田晴美、佐藤昭夫（都老人研・自律神経）

5. 肝由来神経活性化因子による老化マウス網膜からの神経再生促進
○堀江秀典[1]、高野雅彦[2]、門屋利彦[3]、稲垣好昌[3]（横浜市大・医：[1]生理・[2]眼科、[3]キリンビール探索研）

6. 加齢に伴う神経接着分子F3の発現変化とその意義
○渡辺和忠[1]、武内恒成[1]、細矢博子[1]、鳥崎久仁子[2]（[1]都老人研・実験生物、[2]自治医大・第１生理）

10:20～11:10　老化促進モデルマウス　座長　小泉昭夫（秋田大医）

7. 老化促進モデルマウスSAMP10における脳萎縮と行動・学習障害の関連
○芹生直行[1]、大西克則[1]、八木秀雄[1]、秋口一郎[1]、太田明[2]、樋口京一[3]、細川昌則[3]（[1]京大・医・神経内科、[2]京大・文・心理学、[3]京大・胸部研・老化生物）

8. 老化促進モデルマウス(SAM)の自主運動と生体リズムおよび寿命
○柳平坦徳[1]、岡野照[1]、米村勇[2]、酒井秋夫[1]、支倉逸人[2]（[1]信州大・医・加齢適応研セ、[2]東京医歯大・医・法医）

9. 老化促進モデルマウス(SAMP6)における肺機能の加齢変化
○平井豊博[1]、田久保康隆[1]、越久仁敬[1]、三嶋理晃[1]、久野健志[1]、松下隆寿[2]、樋口京一[2]、細川昌則[2]（京大・胸部研：[1]臨床生理・[2]老化生物）

10. 老化促進モデルマウス(SAM)における肺コラーゲンの加齢変化
○田久保康隆[1]、平井豊博[1]、越久仁敬[1]、三嶋理晃[1]、久野健志[1]、譚亜夏[2]、樋口京一[2]、細川昌則[2]（京大・胸部研：[1]臨床生理・[2]老化生物）

第1日　10月18日（水）

11.　老化促進モデルマウスにおける放射線の影響ー脳の加齢性変化 (II)ー
○岸川正大[1]、榮美保子[1]、井関充及[1]、近藤久義[1]、島崎達也[2]、佐々野笑行[3]、佐藤浩[3]（長崎大・医：[1]原爆資料セ病理・[2]原研放射線・[3]動物実験）

11:10〜11:50　細胞死・食餌制限　　座長　細川昌則（京大胸部研）

12.　細胞死と老化ー肝細胞における暗細胞・アポトーシスを中心にー
○佐藤秩子、伊藤美武、田内久（愛知医大・加齢研）

13.　食餌制限は加齢による肝細胞増殖低下および細胞死増加を抑制する
○樋上賀一、下川功、富田雅人、沖本智昭、池田高良（長崎大・医・第１病理）

14.　エネルギー制限による膵ラ氏島萎縮
○吉岡政人[1,2]、塚田三香子[1]、宮村佳典[3]、茂木隆[1]、佐々木昌弘[1]、成瀬真弓[1]、和田安彦[1]、小泉昭夫[1]（秋田大・医：[1]衛生・[2]第１外科・[3]皮膚）

15.　エネルギー制限による膵ラ氏島萎縮のメカニズム
○宮村佳典[1]、吉岡政人[2]、塚田三香子[3]、茂木隆[3]、佐々木昌弘[3]、成瀬真弓[3]、和田安彦[3]、小泉昭夫[3]（秋田大学・医：[1]皮膚・[2]第１外科・[3]衛生）

11:50〜13:00　昼食、
12:00 〜12:45　評議委員会（学会場）
13:00〜13:30　総会（学会場）

13:30〜14:30　特別招待講演 (Invited Lecture)　　座長　木幡陽（都老人研）

Pamela L. Larsen (Andrus Gerontology Center, Univ. of Southern California)
Is life span in *C. elegans* determined by a biological clock or by a cascade ?

一般演題

14:30〜15:00　変異体と老化・寿命 I　　座長　小野哲也（東北大医）

16.　線虫 *Caenorhabditis elegans*の寿命突然変異体と酸化ストレス
○安達宏[1,2]、林達男[1]、柳川琢磨[1]、藤原美定[3]、石井直明[2]（[1]ライオン生物科学セ、[2]東海 大・医・分子生物、[3]神戸大・医・放射線基礎）

17.　線虫 C. エレガンス長寿命突然変異体の表現形質に及ぼす酸素の影響
○本田修二[1]、本田陽子[2]（都老人研：[1]アイソトープ・[2]セルバンク）

18.　線虫 C. エレガンス長寿突然命変異体におけるSOD遺伝子の発現
○本田陽子[1]、石井直明[3]、本田修二[2]（都老人研・[1]セルバンク・[2]アイソトープ、[3]東海大・医・分子生命）

コヒーブレーク　15:00〜15:15

15:15～15:55　変異体と老化・寿命 II　　座長　近藤昊（都老人研）

19. 老化促進モデルマウス(SAM)のテロメア長の加齢変化－非RI法による検討－
〇高橋愛子[1]、北戸春雄[1]、細川昌則[2]、樋口京一[2]（[1]P & Gファーイースト・インク、[2]京大･胸部研・老化生物）

20. Werner症候群の培養皮膚線維芽細胞と継代老化した細胞のmitochondria形態の検討
〇村野俊一、中澤敦美、森崎信尋、齋藤康（千葉大・医・第２内科）

21. 寿命蛋白質の研究　12. 抗JP抗体のショウジョウバエ寿命に及ぼす影響
〇米村勇[1]、岡野照[2]、道川誠[3]、西牧裕子[1]、柳平坦徳[2]、周懐谷[1]、佐藤慶太[1]、支倉逸人[1]（東京医歯大・医：[1]法医・[3]神経内科、[2]信州大･医・加齢適応研セ）

22. 老化の統計力学：Aging関数とその展開
〇末松和實[1]、河野稔[1]、菰田泰夫[2]、川添豊[3]（[1]河野臨床医学研・老化研、[2]医歯大、[3]名市大）

15:55～16:35　突然変異・酸化ストレス　　座長　石井直明（東海大医）

23. 加令に伴う突然変異頻度増加の組織特異性
〇小野哲也、宮村佳典、北野太一（東北大・医・放射線基礎）

24. ラットDNA酸化傷害の加齢変化と食餌制限の影響
〇田原正一[1]、金子孝夫[2]（都老人研：[1]超微形態・[2]アイソトープ）

25. DNA酸化傷害（８－ヒドロキシデオキシグアノシン）除去酵素
〇金子孝夫[1]、田原正一[2]、丹野宗彦[4]、田口隆彦[3]（都老人研：[1]アイソトープ・[2]超微形態・[3]分子生物、[4]都老人医療セ）

26. DNA酸化傷害の修復に関与するDNA ポリメラーゼ
〇田口隆彦[1]、神野悟[2]、水内知子[2]、木田厚瑞[2]（[1]都老人研・分子生物、[2]都老人医療セ・呼吸器）

16:35～17:05　酸化ストレス　　座長　米村勇（東京医歯大医）

27. 高濃度酸素下におけるラット脳の抗酸化能の変動
〇五味不二也[1]、内田洋子[2]（都老人研：[1]超微形態・[2]神経病理）

28. ダウン症における赤血球Cu,Zn-SODの加齢変動
米田健一[1]、飯沼和三[2]、〇篠田友孝[1]（[1]都立大・理・化学、[2]国立小児病院）

29. カルボニル化蛋白質の二次元ポリアクリルアミドゲル電気泳動法によるウエスタンブロット解析
〇中村明宏、後藤佐多良（東邦大・薬・生化学）

18:00～20:00　懇親会

第2日　10月19日　(木)

9:05～12:30　　シンポジウム「老化・寿命・細胞死ー最近の進歩ー」

座長　**高木由臣**（奈良女大理）　**藤原美定**（神戸大医）

9:05-9:30　S1　Keynote address: アポトーシス／アポビオーシスと老化・寿命
田沼靖一（東京理科大・薬・生化学）

9:30-9:50　S2　ゾウリムシのクローン寿命とカルチャー寿命
○高木由臣、山本奈津子（奈良女大・理・生物）

9:50-10:10　S3　77KDa蛋白質は寿命遺伝子発現のマーカーになるか
○米村勇[1]、岡野照[3]、道川誠[2]、支倉逸人[1]（東京医歯大・医・[1]法医学・[2]神経内科、[3]信州大・加齢適応研セ）

10:10-10:30　S4　Werner症候群の分子遺伝学
○三木哲郎、名倉潤、萩原俊男（阪大・医・老年病医学）

10:30-10:55　S5　プログラム神経細胞死のカルシウムによる制御
○小池達郎、田中秀逸（北大院理・行動知能学）

10:55-11:05　休憩

座長　**松尾光芳**（甲南大理）　**後藤佐多良**（東邦大薬）

11:05-11:30　S6　アスコルビン酸トランスポーター活性とアポトーシス・老化
○三羽信比古、金建利美、長尾則男（広島県立大・生物資源部）

11:30-11:50　S7　蛋白質の酸化修飾の老化における意義
後藤佐多良（東邦大・薬・生化学）

11:50-12:10　S8　変性脂質、動脈硬化とNO
○横山光宏、川嶋成乃亮、平田健一（神戸大・医・第１内科学）

12:10-12:30　S9　原爆被ばく者と老化
○児玉和紀[1]、笠置文善[2]、藤原佐枝子[1]、山田美智子[1]、錬石和男[1]（放射線影響研・[1]臨床研・[2]統計部）

第2日　10月19日　(木)

第19回日本老年学会総会プログラム

会　　期：　平成7年10月19日(木)　13:00～16:50
会　　場：　大阪国際交流センター
基本テーマ：　21世紀の老年医療・福祉とQOL

1．総会　13:00～13:30

2．会長講演　司会：原澤道美（東京逓信病院院長）
「老年病の分子生物学的アプローチ」　13:30～14:00
熊原雄一（第19回老年学会長）

3．シンポジウム　司会：阿部　裕（大阪労災病院院長）
尾崎照雄（国立循環器病センター総長）
主題：21世紀の老年医療・福祉とQOL

基調講演「老人のターミナルケアー」　14:00～14:35
柏木哲夫（阪大・人間科学部・臨床老年行動学）

シンポジスト
1．基礎医学の立場から「老化の細胞分子機構と制御」
第19回日本基礎老化学会大会長
藤原美定（神戸大・医・放射線基礎医学）　14:35～15:00

2．臨床医学の立場から「老年期精神障害の現況と臨床的問題」
第37回日本老年医学会総会会長
西村　健（阪大・医・精神医学）　15:00～15:25

3．歯科医学の立場から「高齢者歯科治療時の全身的問題」
第6回日本老年歯科医学会大会長
松浦英夫（阪大・歯・歯科麻酔学）　15:25～15:50

4．社会科学の立場から「人生の週末期のおけるQOLー福祉の立場からー」
第37回日本老年社会科学会大会幅会長
大国美智子（大阪府大・福祉学部）　15:50～16:15

ディスカッション　16:15～16:50

第3日　10月20日（金）

一般演題

9:10〜9:40　免疫 I　　座長　**細野正道**（京大胸部研）

30.　マウスT細胞の加齢変化：　フローサイトメトリーによる解析
○湧川温子[1]、宇津山正典[2]、石川尚子[1]、北川昌伸[1]、広川勝昱[1]（[1]東京医歯大・医・感染免疫病理、[2]都老人研・免疫病理）

31.　T細胞におけるシグナル伝達の分子機構：その加齢変化　第二報
○宇津山正典[1]、倉島知恵理[1]、広川勝昱[2]（[1]都老人研・免疫病理、[2]東京医歯大・感染免疫病理）

32.　高齢マウスのインフルエンザウイルス感染に及ぼす漢方方剤－麻黄附子細辛湯－の効果
○高木康博[1]、前田章子[1]、上羽昇[1]、東奈津美[2]、山村博彦[2]、布浦由樹[2]（[1]大阪府公衛研、[2]小太郎漢方製薬）

9:40〜10:20　免疫 II　　座長　**広川勝昱**（東京医歯大医）

33.　加齢SAMP1の抗体産生と遅延型過敏反応に関わるT細胞の機能解離
○十一英子[1,4]、馬場満男[1]、細川友秀[3]、細野正道[2]、細川昌則[1]（京大・胸部研：[1]老　化生物・[2]免疫、[3]京都教育大・生命科学、[4]京大・医・皮膚）

34.　老化促進モデルマウス脾細胞の免疫機能のノルアドレナリンによる制御
○西村泰光[1]、大久保聡子[1]、細野正道[2]、細川昌則[3]、細川友秀[1]（[1]京都教育大・生命科学、京大・胸部研：[2]免疫・[3]老化生物）

35.　自己抗体産生制御機構の加齢変化に及ぼすストレスの影響 V. MRL/nマウス脾B細胞の自己抗体産生反応に及ぼすノルアドレナリンの影響
○岡田佐奈美[1]、青池晟[2]、細川友秀[1]（[1]京都教育大・生命科学、[2]関西労健センター）

36.　老齢マウスにみられる常在菌外毒素反応性T細胞の個体致死性終末応答
○細野正道[1]、饗場祐一[1]、桂義元[1]、細川友秀[2]（[1]京大・胸部研・免疫、[2]京都教育大・生命科学）

10:20〜11:00　栄養・エネルギー　I　　座長　**佐藤秩子**（愛知医大）

37.　老若マウスApoA-IVの絶食による誘導合成に対する食餌制限の影響：Western blot解析
○荒木幸子、後藤佐多良（東邦大・薬・生化学）

38.　下垂体somatotrope（GH細胞）の新生における加齢および食餌制限の効果
○下川功、樋上賀一、富田雅人、沖本智昭、池田高良（長崎大・医・第一病理）

39.　培養線維芽細胞の遊走と増殖に及ぼすサル血清の効果：老化と食餌制限
○近藤昊[1]，Mark A. Lane[2]，米沢由美子[1]，Donald K. Ingram[2]，Richard G. Cutler[2]，George S. Roth[2]（[1]都老人研・実験生物、[2]NIA）

40.　エネルギー制限マウスにおける心筋活動電位の特長
○和田安彦、塚田三香子、小泉昭夫（秋田大・医・衛生）

11:00～11:40　栄養・エネルギー II　　座長　藤田美明（都老人研）

41. エネルギー制限マウスにおける心筋内(Na^++K^+)-ATPaseの活性とOuabain結合性
○塚田三香子、和田安彦、小泉昭夫（秋田大・医・衛生）

42. エネルギー制限マウスにおける脳内エンケファリンの免疫組織化学的研究
○成瀬真弓[1]、大友和夫[2]、小泉昭夫[1]（秋田大：[1]医・衛生、[2]医療技術短大）

43. 老化研究用飼料の開発　5.　低蛋白低エネルギー飼料の製品化試験
○朱宮正剛[1]、倉本和直[1]、伊藤博史[2]、諏訪部勲[2]、下郡洋一郎[2]（[1]都老人研・実験動物、[2]農産工・中研）

44. インドネシア･パダン地区における都市と農村に在住する老齢者の栄養調査に関する研究
○中野昌俊[1]、伊藤賀子[1]、大羽和子[2]、近藤繁生[3]、F. Oenzil[4]（愛知医大：[1]加齢研・[3]寄生虫、[2]名女大・家政学、[4]Andaras大）

11:40～12:50　昼食

12:50～13:30　蛋白質　　座長　樋口京一（京大胸部研）

45. 老化マーカー蛋白質(SMP30)／カルシウム結合蛋白質(RC)の遺伝子構造
○藤田敬子[1]、白沢卓二[2]、丸山直記[2]（都老人研：[1]分子生物･、[2]分子病理）

46. 加齢と上皮系細胞における脱イミノ化タンパク質の産生
○千秋達雄、秋山翹一（都老人研・細胞化学）

47. ApoA-II遺伝子のpolymorphysmが血漿リポ蛋白質代謝に及ぼす効果
○王静、北川香織、小岸久美子、細川昌則、樋口京一（京都大・胸部研・老化生物）

48. TMIG-2DPAGE(老人研二次元電気泳動蛋白質データベース）システムの開発ー細胞の増殖・分化・機能・老化関連蛋白質のデータベース化を目指してー
○戸田年総[1]、加治和彦[2]、木村成道[1]（都老人研：[1]分子生物・[2]アイソトープ）

13:30～14:00　加齢変化　　座長　丸山直記（都老人研）

49. 拘束ストレスがB16メラノーマの肺転移に及ぼす影響：加齢との関係について
○菅野純、湧川温子、広川勝昱（東京医歯大・医・感染免疫病理）

50. パラビオーゼにおけるマウス血中成分量の変化
○野間口隆（都老人研・細胞生物）

51. 膀胱機能の加齢変化
○内田さえ、堀田晴美、佐藤昭夫（都老人研・自律神経）

第3日　10月20日（金）

14:00～14:30　予防・治療　　座長　岸川正大（長崎大医）

52.　加齢ラットの腎糸球体及び近位尿細管傷害に対する食事アルギニンの影響
○海老沢秀道、市川みね子、大関和子、白川愛子、藤田美明（都老人研・栄養）

53.　加齢に伴い発症する糸球体腎炎の治療実験
○宇都宮保典、丸山直記（都老人研・分子病理）

54.　老化に対する漢方の予防効果ー防巳地黄湯を用いた行動薬理学的・形態学的検討ー
○榮美保子[1]、岸川正大[1]、井関充及[1]、川口哲[2]、近藤久義[1]、佐々野笑行[3]、佐藤浩[3]（長崎大・医：[1]原爆資料セ・[2]精神神経・[3]動物実験施設）

コーヒーブレーク　14:30～14:50

14:50～15:30　βアミロイド・カルボリン　　座長　千秋達雄（都老人研）

55.　βカルボリンイオンとパーキンソン氏病
○小林裕太[1]、松原和夫[2]（島根医大：[1]薬理・[2]法医）

56.　アルツハイマー病βアミロイド線維形成機構の反応速度論的解析
○内木宏延、中久木和也（福井医大・第2病理）

57.　β/A4タンパク質の凝集に関わる因子についての検討
○武田和也[1]、小園秀樹[1]、木村正樹[1]、梶裕之[1]、田岡万悟[1]、上田健治[2]、森啓[2]、篠田友孝[1]（[1]都立大・理・生化、[2]都精神研・分子生物）

58.　アルツハイマー病におけるラセミ体の意義
○白沢卓二[1]、森啓[2]（[1]都老人研・分子病理、[2]都精神研・分子生物）

15:30～16:50　ミニシンポジウム「βアミロイドの蓄積と神経毒性の機構」

座長　篠田友孝（都立大理）　松本明（神戸大医）

MS1.　Aβの線維化機構と関連因子
○篠田友孝[1]、武田和也[1]、小園秀樹[1]、木村正樹[1]、梶裕之[1]、田岡万悟[1]、上田健治[2]（[1]都立大・理・化学、[2]都精神研）

MS2.　正常アミロイドの病変機構仮説
森　啓（都精神研・分子生物）

MS3.　ヒトCa^{2+}依存性β-secretaseとβアミロイド蓄積
○松本明[1]，馬場久光[2]、藤原美定[1]（神戸大・医：[1]放射線基礎・[2]3内）

MS4.　βアミロイドの神経毒性へのGIFおよびApoE-isoformの影響
○内田洋子[1]、植木彰[2]（都老人研・[1]神経病理、[2]自治医大・神経内科）

16:50～16:55　閉会　　事務局　松本　明

協　賛　会　社

小野薬品工業株式会社
株式会社ツムラ
塩野義製薬株式会社
ゼネカ薬品株式会社
ゼリア新薬株式会社
第一製薬株式会社
大日本製薬株式会社
東京田辺製薬株式会社
東レ・メデイカル株式会社
日本ウエルカム株式会社
日本チバガイギー株式会社
日本ベーリンガー・インゲルハイム株式会社
バイエル薬品株式会社
萬有製薬株式会社
富士レビオ株式会社
持田製薬株式会社富士中央研究所
山之内製薬株式会社

（1995年8月17日現在、アイウエオ順）

メモ

協賛会社

アマシャム株式会社
アロカ株式会社
エーザイ株式会社
小野薬品工業株式会社
株式会社ツムラ
協和発酵工業株式会社
興和株式会社
三共株式会社
サンド薬品株式会社
塩野義製薬株式会社
住友製薬株式会社
ゼネカ薬品株式会社
ゼリア新薬株式会社
田辺製薬株式会社
第一製薬株式会社
大日本製薬株式会社
帝人株式会社
富山化学工業株式会社
東京田辺製薬株式会社
東レ・メデイカル
株式会社
日本ウエルカム
株式会社
日本チバガイギー
株式会社
日本ベーリンガー・
インゲルハイム株式会社
バイエル薬品株式会社
萬有製薬株式会社
富士レビオ株式会社
藤沢薬品工業株式会社
持田製薬株式会社富士
中央研究所
山之内製薬株式会社

(1995年10月12日現在、アイウエオ順)

日本基礎老化学会
第19回大会プログラム

1995年9月20日

編集委員　宮坂京子　戸田年総　佐藤裕子
㈶東京都老人総合研究所内
〒173　東京都板橋区栄町35－2
☎　03－3964－3241

印刷所　神谷印刷株式会社
〒155　東京都北区神谷1－20－8
☎　03－3912－2571（代）